

大西さとし

市政レポート 令和3年 第4回 9月定例会

連絡先 〒760-0080 高松市木太町1849-1-602
TEL 090-8696-1730

●ホームページ <http://www.ohnishi-satoshi.jp>

●フェイスブック



「人」が輝き、
「まち」が輝く
「輝く創造都市、高松」



Report
報告 1

9月6日から22日までの17日間の日程で、令和3年第4回定例会(9月議会)を開催し、令和3年度一般会計補正予算など13議案を可決し、議員提出議案1件を可決し2件を否決としたほか、人事案件8件に同意しました。また、令和2年度一般会計決算など、3議案を継続審議としました。

9月定例会(抜粋) 質問および答弁の概要

新型コロナウイルス感染症の ワクチン接種について

Q 夏休み期間中にワクチン接種ができなかった小中高校生、特に受験生に対して副反応を考慮し、土曜日に接種ができるよう配慮する考え

A 若い世代のワクチン接種に関する不安等の解消のためにも、土曜日に接種する機会を確保することは重要であることから、土曜日を含め、休日・時間外に接種できる医療機関等を確保するとともに、引き続き、接種予約が可能な医療機関一覧を作成し、ホームページに掲載するなどの取組みを進めてまいります。

Q 本市における若年層のワクチン接種状況と受け止め、及び若年層のワクチン接種に対する不安や疑問に答えられる情報発信を行う考え

A 国の「ワクチン接種記録システム」によると、若い世代ほど接種割合が低くなっている。今後、ワクチン接種による感染症の収束に向けて、若い世代の接種促進に取り組みることが重要であると受け止めている。

接種割合が低くなっている背景として、副反応が心配でリスクを背負ってまで接種したくないなど、若い世代にとつて、接種に対する抵抗感があるとの指摘もあり、今後、不安等の解消を図り、この世代の接種促進に取り組みることが重要と考える。また、本市では、重症化の予防などという

た接種による効果と、発熱などの副反応の発症などというリスクについて、リーフレットで広く周知するほか、若者や働く世代向けに、医師や学生などへのインタビュ記事「広報高松」に掲載するなど、正確な情報の周知に努めているところである。

更なる若年層への啓発を図るため、今月中の配信開始に向け、若者に影響力のあるインフルエンサーなどを起用した、YouTube動画の作成に取り組んでいるところである。

今後とも、若い世代が安心してワクチンを接種しようと思つて頂けるよう、SNS等も活用しながら、ワクチン接種の効果や安全性について、情報発信してまいります。

新型コロナウイルス感染症の 療養者支援について

Q 単身者や子どもの陽性者の自宅療養、及び入院調整中の自宅待機期間における支援体制

A 本市ではこれまで、スマートフォンアプリの「マイハイス」を活用して、毎日の健康観察を行うほか、血液中の酸素飽和度を測ることが出来る、パルスオキシメーターを貸し出すとともに、自宅療養等を行っている間に必要な食料品などをそろえた「自宅療養セット」を配布しているところであり、特に、単身者において、療養生活の一助となっている。

また、子どもの陽性者が自宅療養等となる場合においては、部屋を分けて過ごしていたり、お風呂を分けるほか、家庭内での感染拡大を防止するための注意点を、保健所職員が丁寧に説明するなどの取組みを

行っている。今後においても、これらの取組みを継続することで、単身者や子どもの陽性者が安心して自宅で療養することができるよう、努めてまいります。

Q 県が開設する「酸素ステーション」により、どのような効果が期待できるのか

A 感染が急激に拡大し、病床の逼迫が進んだ場合には、直ちに入院することが困難となることも考えられることから、この度、県において、宿泊療養施設として利用している市内のホテル内に、「酸素ステーション」を設置することが公表されたところである。

これにより、入院先が決まるまでの間の、酸素投与等の適切な治療を受ける場所が確保され、自宅療養者等の安心感が高まるとともに、医療従事者や保健所職員にとつても、負担の軽減につながるものと考えている。

また、救急隊についても、搬送先が決まらない方を、「酸素ステーション」で二時的に受け入れることにより、隊員の搬送業務などの労務負担の軽減や、次の救急要請への迅速な対応が可能となることを期待されるものと考えている。



裏面に続きます。

令和3年度 高松市各種補助金制度のご案内

詳しくは高松市のホームページをご覧ください。



高松市 補助金 検索

中小企業等デジタルシフト事業補助金

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内の中小企業又は個人事業主が、自社の課題を解決し、労働生産性の向上や、新型コロナウイルスの感染リスク低減に繋がるような、ITツールを導入するための経費が補助されます。

補助対象者

本店である営業所の所在地が高松市内である中小企業又は市内に住所を有する個人事業主 他

補助対象事業

● 低感染リスク型ビジネス類型

複数のプロセス（販売管理と労務など）の非対面化・連携を可能とするITツールを導入する事業

● テレワーク対応類型

テレワーク環境の整備に資するクラウド型のITツールを導入する事業

補助対象経費

国のIT導入補助金2021により登録を受けているIT導入支援事業者のうち、いずれか1者が提供するITツール（登録されているものに限る）の導入に係る経費。経費の対象となる「ITツール」や「ITツール」を提供する「IT導入支援事業者」については、国のIT導入補助金2021のホームページを必ずご確認ください。

補助率・補助額

● 低感染リスク型ビジネス類型

補助率…3分の2※

補助額…30万円〜200万円

● テレワーク対応類型

補助率…3分の2※

補助額…30万円〜100万円

※ IT導入支援事業者の

本店所在地が高松市内の場合は4分の3

申請期間

令和3年10月1日（金）〜11月15日（月）必着



営業時間短縮協力応援金

まん延防止等重点措置が実施されたことを受け、香川県からの営業時間短縮等の協力要請（第6次）に全面的に協力した市内で飲食店を経営する事業者に対し、本市独自の応援金が支給されます。

対象者

香川県営業時間短縮協力金（第6次）の支払いを受け、かつ、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら市内で営業を継続する意思がある飲食事業者

応援金の額

香川県営業時間短縮協力金（第6次）の支払額の1割、「かがわ安心飲食店認証制度」の認証店には2割の金額

申請受付期間

令和3年10月15日（金）〜12月17日（金）当日消印有効

新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により、香川県に對しても9月17日から30日の間まん延防止等重点措置が発出されるなど、感染防止対策による様々な制限によって市民生活や企業活動に、大きな影響が出ています。国や県、高松市では、コロナ禍における皆様の暮らしと営みを守るため、「給付金」や「貸し付け」「猶予」など、様々な取組を行っています。

コロナ禍により様々なを受けた影響が少しでも軽減されますよう、各種支援事業について県や市など、関係機関のホームページでのご確認や、窓口へのお問合せを頂きますよう宜しくお願いいたします。



高松市各種支援・助成ホームページ

Column コラム



誰一人取り残さない社会の実現を!

視覚に障害を持つ方への「声かけ」サポートと「ありがとカード」

先日、視覚障害者団体の方とお話をする機会がありました。お話では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策などにより、視覚に障害をお持ちの方に対する「声かけ」などのサポートが大きく減少しているとのことでした。

そのため、ホームからの転落、危険な場所での転倒やトラブル、買い物などでのトラブルなど、不幸な事故やトラブルが多発しているようです。視覚に障害をお持ちの方は「声かけ」などのサポートを待っておられ、「白杖」使用者や「ヘルプマーク」着用者、また「盲導犬」「ユーザー」等を見かけたら「何かお困りはないですか」「何かお手伝いしましょうか」など、気軽に声かけをお願いしたいと切望されております。

また、視覚障害者の団体では「ありがとカード」を作成し、声かけなどのサポートを頂いた際にはカードを渡し、サポートを望んでいる内容や感謝の気持ちを伝えるとともに、視覚障害者への理解促進を図る活動を行っているそうです。誰一人取り残さない社会の実現に向け、支援が必要とされる方を見かけたら、「声かけ」などのサポートをよろしく願っています。

大西智



高松市 ヘルプマーク 検索